

コロナの中で労協第69回定期大会

11月7日(土)東京土建目黒会館にて、目黒労協第69回定期大会が開催されました。コロナ対策のため、代議員を加盟労組各1名とし、各議案も事前配布、当日は5分程度の提案・報告とするなど議事の短縮化を図り、午前中2時間の開催でしたが、参加の各労組すべてから発言・報告をいただきました。大会役員はあらかじめお願いした以下の方を承認：議事に入りました。



議長挨拶

議長：土建目黒支部より、議事運営：労協執行委員にて
選挙管理：JMITU 目黒地域支部、労協執行委員にて

議長挨拶：労協議長

米国の大統領選挙であらわになった分断の状況、日本もアメリカの後を追っているのでは。生活支援で活躍されている NPO の方と話したが、SNS 上で「自己責任」という書き込み多数なされる。労協にも多数の労働・生活相談くるが、困難な方を受け止め、つながっていくその役割は、この「分断」の中で高まっている。皆で作らねよう。

経過報告：労協副議長

- ・経過報告・ニュース一覧見てみてください。議長からもあったがコロナのため春闘時期から活動「自粛」。その中で、給与や人勧は賃上げ見送り。来春闘に向け課題を残した。
- ・各労組からの報告。区職労：保健所など年間 360 時間以上時間外増えている。
- ・ロイヤルリムジングループの目黒交通、労協未加盟：地域共闘で支援、雇用守ったが、移転問題がこの秋続いている
- ・JAL 争議、早期解決を求め区内全駅宣伝を実施した。
- ・労働相談、爆発的拡大はないが、相談が続いている。
- ・公契約審議会などの資料も掲載した。来年は総選挙も。平和の集い・住宅デーなど縮小開催の中でも参加。ピースウォークも 9 月から再開した。
- ・労協：地域会議や産別会議、ともに、各組合での組合員減少・加盟組合の減少の中で開催できないでいる。労金目黒は店舗移転(五反田)で区内に無くなり、脱会手続き中に。HP 改定、お金をかけて実施、見やすくなったのでぜひ閲覧を。



大会は検温・消毒から

決算報告：労協会計担当

今期は、前期繰越金 13 万 7 千円予のみではならず、特別会計など含め 39 万円補充して、予算総額 311 万円余でスタートした。それでも予算足りず春闘会計も繰り入れて執行。事務所費 50 万円、人件費 205 万円余。来期への繰り越しは 56,726 円とさらに減少した。

運動方針：労協事務局長

行動日誌に記載あるが、2020 年 3 月以降「中止」の取り組みが多数。この中で「コロナ解雇」今後倒産・廃業進みそう。雇用調整助成金や持続化給付金などの 1 月以降延長が必要。

菅政権、学術会議任命介入問題など、安倍政権に増して強権的。自助・共助を強調。自己責任が基本方針。さらに今後増税も。ブレーンも竹中・アトキンソンなど一層の新自由主義への展開が予想されている。時給 1500 円にして、払えない中小企業は「つぶれてください」中小企業法改悪に向かう。小池都政・オリンピックにいまだ邁進している。目黒区長選では青木区長が再選され、さらに続くことになった。コロナ下で人間同士が会えない、労働運動助け合っていくのに、対面も欠かせない。新しいやりかたを、皆さんと考えていきたい。ぜひ今大会でもご意見いただきたい。



運動方針 事務局長

大会議長：ここで 10 分休憩。（*喫煙所が満員に）その後再開、議案への質問・意見など、特になければ拍手で承認を→拍手で承認。各労組より活動報告を、5 分以内で。

JMITU 目黒地域支部 代議員： コロナ下、活動縮小。2 月までは「地域外に出て」と構えていたが、2 月すぎてあまり行動していないので、報告することもないが、今後助け合いの大切さ、高齢化進展で疲れが見えるが、これからも頑張っていきたい

大東通信機労組 代議員： 一時金・春闘ともに思うような成果出せず、秋以降新体制となったが、厳しい状況である。

目黒ユニオン 代議員： 組合員人数 30 名余。コロナのため遅れて 10 月大会開催。従来からの基本的運動をコロナの中でも。①組織拡大・企業ごとでない横並び運動重要が増している。駅頭宣伝・労働相談を展開して、組合員増やしていきたい。

②争議団支援、裁判傍聴・集会参加などにも努めていきたい。労働問題増えている。一歩ずつ進めていきたい。

東工大職組 代議員： 組合事務室移転、本館の片隅から若干駅に近くなったところに。お近くにお越しの際はぜひお寄りを。大学は 6 月からリモート授業や実習など再開。

愛隣会労組 平泉さん： コロナ前から組合活動停滞。しかし今までの蓄積で、法人もあまり悪いことはしてこない。4 月、家族がコロナ感染した人に「休め、しかも有給休暇」といったきた。組合に相談あったが、組合が口を出す前に、法人側が善処した。組合の存在意義はあると思う。役員集まって活動を始めた。

パスコ労組 代議員：

10 月 30 日定期大会開催。コロナ下、大人数で集まること躊躇し Web 開催。採決もウェブ上で。従来懇親・レクが中心だったができない→小集団化などの試行錯誤を続けている。

目黒区職労 代議員：

公務員賃金闘争、いまヤマ場。人事委員会勧告一時金0.05ヶ月削減の勧告。再任用も、区のみが会計年度職員も0.05ヶ月削減。保健所などに応援職員派遣。保健所のみでなく派遣元のすべての職場も残業続く。保健所では36協定守れない。職場訪問したところ「家族との時間とれない」「睡眠時間4時間しか取れない」「昼休みも食べて歯磨きしたら仕事」などの意見出された。

保育園民営化、新報告で「公立保育園の役割明確化・適正配置を図る」。今は民間7割、公立3割。園児数では75%と25%。保育の質低下を守ることを求めていく。



東京土建目黒支部 代議員：

フリーランス・一人親方が多い。持続化給付金相談会：100件以上相談。拡大80人目標に対し、160人以上拡大した。千葉書記長(労協議長)を組織部長に据え、取組みを行った。アスベスト裁判なども取組みを続けている。

都教組目黒支部 代議員：

いつも署名など皆さんには協力いただいている。区教委への要求書も、本日資料で配布。2月突如一斉休校で現場は大混乱に。4月・6月と区教委に申し入れを行った。教室はいつも「密」、給食は黙って食べる。子ども帰ったら先生が全部消毒。そして土曜授業。夏休みも減らされ、子どもも先生方も疲れ切っている。少人数学級・むやみに授業時数を増やさず、組合の意義、要求すれば無視はできない。現場の平均労働時間、コロナ前でも11時間以上。朝の7時30分から夜7時ごろまで、昼休みなしであった。

医療生協 代議員： 常勤10名、常勤的非常勤24名、他パート。委員長も6年目で明日大会。常勤からも「役員やります」と申し出があり、新体制になる予定。

公契約条例審議員として 特別代議員より「特別報告」。

2年間、目黒労協の推薦で委員に。今年度からは、全建総連推薦で委員に。下限報酬額、積算基準「軽作業員」の70%と抑えられている。コロナ下で最低賃金据え置きの中、今年度上げられない。住区センターも民営化に。「連合」もリビングウエッジと。来年度の下限報酬額は1080円と区側、世田谷は1110円。そもそも「積算が安過ぎる」という点では、事業者側も一致している。区の発注金額を「コロナ下こそ上げろ！」と訴えていく。

討論のまとめ 労協事務局長：コロナの中

で、どうする。どこも困っていることが分かった。都教組さんからも学校の困難な状況出された。困っていることがあったら、ぜひみんなで支援を。パスコ労組さんも一度脱退、再加盟。これも困っている方の支援を、労協も取り組んできた成果。新しい生活様式の中で運動を進めていく、新年度の中で考えていきたい。土建さんの目標を倍する拡大を聞いて勇気づけられた。めぐろユニオンさんと共に、組織拡大取り組んでいきたい。



“締め、は団結ガンバロー！”

役員選挙

選管より：立候補者一覧を発表。立候補は定数内であるため、信任投票にて拍手での承認とすることを、議長に一任。

→議長：投票省略すること拍手で確認。

→信任すること・拍手で確認。

新旧役員紹介

：労協議長以下紹介
執行委員は大東通信機からの選出が交代。
その後、大会スローガン・大会宣言を読み上げて確認 →拍手確認。議長解任あいさつ。
12時前に2時間のコンパクト大会終了。

皆様、お疲れ様でした！



新年度役員のみなさんです

最低賃金、今すぐ1500円に！

11月17日夜 中目黒駅前以最賃上げろ宣伝

毎年秋に改定の東京都最低賃金、今年は「据え置き」、時給1013円で変わらず。これに抗議し、「全国一律ただちに1500円に！」と中目黒駅前で宣伝行動を21名の参加で行いました。新ボード、マジックハンドなど登場。

労協、区労連、区職労の役員などがマイク宣伝を行いました。



11/26 大会後、第1回執行委員会開催

おりからのコロナ第3波の中でしたが、上目黒住区センター和室で開催(いつもの鷹番住区は2月まで使用できず)。年末一時金、区職労からは0.05ヶ月、非正規・再雇用含め全員削減、大東通信妥結などの報告がありました。また望年会・新春旗開きともに「飲食抜き」での開催を追求することとなりました。



和室で執行委員会開催